2021年3月26日

各　位

会 社 名　東京汽船株式会社
代表者名　代表取締役社長
齊藤　宏之
（ｺｰﾄﾞ番号　9193　東証第２部）
問合せ先　取締役総務部長
巻島　康行
（TEL　045-671-7713）

秋田港・能代港での洋上風力発電建設工事向けCTV（洋上風力発電交通船）の運航に関するお知らせ

当社は、秋田洋上風力発電株式会社（以下「AOW」）が秋田県の秋田港及び能代港で携わる着床式洋上風力発電事業の建設工事および試運転用に洋上風力発電交通船（Crew Transfer Vessel、 以下「CTV」）の供与を開始しますのでお知らせいたします。

同プロジェクトは日本で初めての商業ベースでの大型洋上風力発電事業で、建設工事・試運転は2021年春から2022年秋までの間で計画されております。当社は本年6月までに建設工事用CTV合計4隻の運航を開始する予定で、第1船は3月末から投入されます。

なお、これらのCTVに加え、秋田県の地元３社（大森建設株式会社、株式会社沢木組、秋田海陸運送株式会社）と当社が設立した合弁会社Akita OW ServiceがAOW向けO&M（保守管理）用CTVを建造中で、同プロジェクトの建設工事・試運転段階にも使われる予定となっております。

CTVは洋上風力発電施設への人員送迎目的に特化して建造された交通船です。高い波高などの比較的厳しい海象条件の下でも安全に乗船者を輸送し洋上風車に移乗させられるよう設計されており、洋上風力発電の建設・試運転、運転開始後の保守管理に不可欠な船舶です。

当社は現在、日本で唯一のCTV運航会社（2隻を保有運航）で各地の洋上風力発電実証研究事業でCTVを運航してきました。2013年12月から現在に至るまで福島浮体式洋上風力発電でCTV1隻を運航、さらに、もう1隻の小型船舶型CTVは千葉県銚子の着床式洋上風力発電での実証運航を経て、現在は福岡県北九州での浮体式洋上風力発電実証事業に投入されております。

今般の秋田港・能代港での建設用CTV4隻を加え、当社のCTV運航隻数は6隻となります。洋上風力発電での交通船事業は「海上での安全サポート」と言う当社の使命と親和性が高い分野です。今後とも運航実績と最新の知見を基に、洋上再生可能エネルギーの分野で事業開発を進めてまいります。

以上